



# JFAプリンスリーグU-18 2010



『高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会出場20チーム決定!』 2010.7.20

## 各地域上位最終結果

### 北海道

高円宮杯  
出場枠  
1チーム  
大会期間  
7/17迄

| 【上位チーム最終順位】      | 勝点 | 得失点 |
|------------------|----|-----|
| 1位: コンサドーレ札幌U-18 | 19 | 20  |
| 2位: 室蘭大谷高校       | 19 | 14  |
| 3位: 旭川実業高校       | 13 | 9   |

プリンスリーグU-18北海道の全日程が終了し、『コンサドーレ札幌U-18』が『室蘭大谷高校』との激しい首位争いを制して優勝を果たした。また、高円宮杯へは4年連続9回目の出場となるが、昨年は1次ラウンドで敗退した。今年は決勝トーナメントでの躍進に期待が集まる。

### 東北

高円宮杯  
出場枠  
1チーム  
大会期間  
7/10迄

| 【上位チーム最終順位】   | 勝点 | 得失点 |
|---------------|----|-----|
| 1位: 青森山田高校    | 28 | 43  |
| 2位: 尚志高校      | 19 | 23  |
| 3位: ベガルタ仙台ユース | 19 | 10  |

プリンスリーグU-18東北の全日程が終了した。結果は『青森山田高校』が圧倒的な強さを発揮し、東北代表として8年連続8回目の高円宮杯進出を果たした。昨年の高円宮杯は決勝トーナメント1回戦で敗退。力のあるチームだけに、今年はさらに上位へ進出することが期待される。

### 関東

高円宮杯  
出場枠  
6チーム  
大会期間  
7/11迄

| 【上位チーム最終順位】            | 勝点 | 得失点 |
|------------------------|----|-----|
| 1位: FC東京U-18           | 29 | 14  |
| 2位: 流通経済大学付属柏高校        | 24 | 14  |
| 3位: 浦和レッドダイヤモンズユース     | 20 | 11  |
| 4位: 東京ヴェルディユース         | 19 | 12  |
| 5位: 三菱養和サッカークラブユース     | 17 | 4   |
| 6位: 横浜F.マリノスユース        | 16 | 8   |
| 7位: ジェフユナイテッド市原・千葉U-18 | 16 | 0   |

強豪ひしめくプリンスリーグU-18関東の全日程が終了。昨年の高円宮杯覇者、『横浜F.マリノスユース』は最終節で6位に滑り込み、高円宮杯進出を決めた。高円宮杯は3大会連続で関東のチームが優勝しているだけに、今年も関東勢の躍進に注目が集まる。

### 北信越

高円宮杯  
出場枠  
1チーム  
大会期間  
7/11迄

| 【上位チーム最終順位】      | 勝点 | 得失点 |
|------------------|----|-----|
| 1位: 富山第一高校       | 27 | 23  |
| 2位: アルビレックス新潟ユース | 20 | 7   |
| 3位: 星稜高校         | 19 | 15  |

すでに高円宮杯出場を決めている『富山第一高校』が最終節でも勝利で飾った。『星稜高校』と『アルビレックス新潟ユース』が独占していた高円宮杯出場権を10年ぶりに奪取した富山第一高校には、高円宮杯での活躍が期待される。

### 東海

高円宮杯  
出場枠  
4チーム  
大会期間  
7/10迄

| 【上位チーム最終順位】     | 勝点 | 得失点 |
|-----------------|----|-----|
| 1位: 清水エスパルスユース  | 21 | 18  |
| 2位: 名古屋グランパスU18 | 21 | 17  |
| 3位: 静岡学園高校      | 19 | 16  |
| 4位: ジュビロ磐田ユース   | 18 | 8   |
| 5位: 清水商業高校      | 11 | -6  |

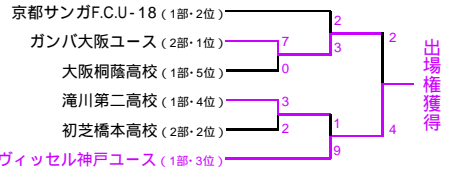
前節で高円宮杯出場チームが決まっていたプリンスリーグU-18東海の全日程が終了。東海代表チームはこの4年間、高円宮杯で毎年ベスト4に進出するものの優勝はできなかった。今年こそ東海勢の優勝を目指す。

### 関西

高円宮杯  
出場枠  
2チーム  
大会期間  
7/17迄

【上位チーム最終順位】  
1位: セレッソ大阪U-18

【高円宮杯出場決定戦】



リーグ戦全日程は6/19に終了。1部リーグで優勝した『セレッソ大阪U-18』が高円宮杯出場権を獲得している。

『高円宮杯出場決定戦』は1部2~5位の4チームと2部の上位2チームによるトーナメント形式で行われ、セレッソ大阪U-18以外で高円宮杯出場権を獲得できるのはトーナメントで優勝した1チームのみとなる。

決勝戦にコマを進めた『ヴィッセル神戸ユース』と『ガンバ大阪ユース』との対戦は、ヴィッセル神戸ユースがガンバ大阪ユースに競り勝ち、高円宮杯出場権を獲得した。セレッソ大阪U-18は4年連続5回目、ヴィッセル神戸ユースは2年連続4回目の出場となる。昨年の大会では関西勢は不振に終わったが、今年は関西旋風を巻き起こすことができるのか、関西勢の躍進に注目だ。

### 中国

高円宮杯  
出場枠  
3チーム  
大会期間  
7/19迄

| 【上位チーム最終順位】          | 勝点 | 得失点 |
|----------------------|----|-----|
| 1部上位リーグ              | 勝点 | 得失点 |
| 1位: サンフレッチェ広島F.C.ユース | 23 | 21  |
| 2位: 広島観音高校           | 19 | 1   |
| 3位: 立正大学瀧南高校         | 17 | 2   |
| 4位: 米子北高校            | 14 | 0   |

セカンドラウンドの最終節が終了し、『サンフレッチェ広島F.C.ユース』、『広島観音高校』、『立正大学瀧南高校』が出場権を獲得。昨年も3チームが決勝トーナメントに進出した実力のある地域だけに、今年は高円宮杯優勝への期待も高まっている。

### 四国

高円宮杯  
出場枠  
1チーム  
大会期間  
12/18迄

| 【上位チーム最終順位】 | 勝点 | 得失点 |
|-------------|----|-----|
| 1位: 愛媛FCユース | 21 | 22  |
| 2位: 松山工業高校  | 19 | 12  |
| 3位: 香川西高校   | 17 | 10  |

プリンスリーグU-18四国の前期日程が終了。『愛媛FCユース』は、チーム数の関係で最終節の試合がなかったが、前節で優勝を決めていたため、3年連続5回目の高円宮杯への出場権を獲得していた。過去2大会はいずれも1次ラウンドで敗退。今年こそは決勝トーナメントへの進出が期待される。

### 九州

高円宮杯  
出場枠  
1チーム  
大会期間  
7/10迄

| 【上位チーム最終順位】     | 勝点 | 得失点 |
|-----------------|----|-----|
| 1位: アビスパ福岡U-18  | 21 | 7   |
| 2位: 東福岡高校       | 19 | 2   |
| 3位: 大分トリニータU-18 | 18 | 10  |

稀に見る大混戦となったプリンスリーグU-18九州は、『大分トリニータU-18』との頂上決戦に勝利した『アビスパ福岡U-18』が優勝をおさめた。高円宮杯へは18回大会に出場しており、決勝トーナメントに進出したものの1回戦で敗れている。今年は前回出場した時以上の成績が期待される。

## 今後のスケジュール

8月1日(日)

adidas CUP 2010 第34回

日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 決勝

8月7日(土) 高円宮杯出場全チーム決定

平成22年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 決勝

8月11日(水)

組み合わせ抽選会

9月4日(土)

第21回高円宮杯全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会 開幕



## 高円宮杯

全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会

|                       |                          |                          |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|
| PL<br>7/19迄<br>計20チーム | クラブユース<br>8/1決勝<br>計2チーム | インターハイ<br>8/7決勝<br>計2チーム |
|-----------------------|--------------------------|--------------------------|

出場合計: 24チーム